



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	119,212	1.6	5,784	3.8	6,019	2.4	2,640	△17.3
28年3月期第2四半期	117,360	2.5	5,572	25.2	5,879	27.1	3,191	25.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	88.66		—					
28年3月期第2四半期	107.15		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	225,459	133,009	59.0	4,465.77
28年3月期	226,638	130,948	57.8	4,396.57

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 133,009百万円 28年3月期 130,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
29年3月期	—	19.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	239,000	4.0	12,300	41.2	12,500	34.3	6,200	19.2	208.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	29,784,400株	28年3月期	29,784,400株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	294株	28年3月期	294株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	29,784,106株	28年3月期2Q	29,784,106株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	10
(1) 商品部門別販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により、企業収益や雇用情勢が緩やかに回復しているものの、円高傾向の定着により企業の輸出や設備投資に鈍さが見られ、また、中国や新興国の景気減速、英国のEU離脱問題による世界経済の下振れ懸念等から、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、6店舗の新規出店及び2店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しも行い5店舗を閉鎖いたしました。これにより当第2四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり365店舗（内1店舗は休業中）となりました。

売上高1,192億12百万円（前年同期比1.6%増）、売上総利益393億13百万円（前年同期比0.8%増）、売上総利益率33.0%（前年同期比0.2ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、新規出店の開設費用等もあり335億29百万円（前年同期比0.3%増）、対売上高比率は28.1%（前年同期比0.4ポイント減）となりました。

この結果、営業利益57億84百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益60億19百万円（前年同期比2.4%増）となりました。なお、「平成28年熊本地震」の影響により固定資産や棚卸資産の毀損又は滅失等による震災関連費用10億2百万円、また平成28年9月に発生した台風16号の被害による災害関連費用20百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純利益は26億40百万円（前年同期比17.3%減）となりました。営業利益、経常利益の段階では増収増益となりましたが、四半期純利益は減益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は505億69百万円（前年同期比2.2%増）、売上総利益176億61百万円（前年同期比2.2%増）、売上総利益率は34.9%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は344億52百万円（前年同期比2.8%増）、売上総利益91億24百万円（前年同期比1.3%増）、売上総利益率は26.5%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は243億17百万円（前年同期比0.7%減）、売上総利益95億89百万円（前年同期比1.3%減）、売上総利益率は39.4%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は98億73百万円（前年同期比0.1%減）、売上総利益29億39百万円（前年同期比1.3%減）、売上総利益率は29.8%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、889億79百万円（前事業年度末比10億7百万円減）となりました。減少の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比26億20百万円増）があったものの、売掛金の減少（前事業年度末比4億31百万円減）、商品の減少（前事業年度末比29億44百万円減）などによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,364億79百万円（前事業年度末比1億71百万円減）となりました。減少の主な要因は、無形固定資産の減少（前事業年度末比46百万円減）、投資その他の資産の減少（前事業年度末比1億39百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、747億91百万円（前事業年度末比53億50百万円減）となりました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（前事業年度末比13億81百万円減）、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比40億26百万円減）などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、176億59百万円（前事業年度末比21億9百万円増）となりました。増加の主な要因は、長期借入金の増加（前事業年度末比20億65百万円増）などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、1,330億9百万円（前事業年度末比20億61百万円増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、230億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、94億40百万円（前年同期比で16億48百万円の減少）となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益42億38百万円、減価償却費31億66百万円、たな卸資産の減少額25億45百万円などに対し、法人税等の支払額22億77百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、83億51百万円（前年同期比で42億35百万円の支出増）となりました。この主な要因は、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出82億36百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、14億76百万円（前年同期比で36億34百万円の収入増）となりました。この要因は、長期借入れによる収入40億円に対し、長期借入金の返済による支出12億36百万円、リース債務の返済による支出7億20百万円及び配当金の支払額5億66百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成28年8月12日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

当第2四半期累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,420	26,040
売掛金	2,620	2,189
商品	60,889	57,945
その他	3,057	2,807
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	89,987	88,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,235	71,021
土地	46,598	46,577
建設仮勘定	888	1,278
その他(純額)	4,765	4,623
有形固定資産合計	123,487	123,501
無形固定資産	2,987	2,941
投資その他の資産	10,176	10,037
固定資産合計	136,651	136,479
資産合計	226,638	225,459
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,252	30,871
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	2,308	3,006
未払法人税等	2,491	1,892
未払金	4,859	4,017
設備関係支払手形	10,243	6,217
賞与引当金	1,059	1,162
役員賞与引当金	34	—
ポイント引当金	1,337	1,267
災害損失引当金	—	18
資産除去債務	—	29
その他	2,923	3,676
流動負債合計	80,141	74,791
固定負債		
長期借入金	4,005	6,071
退職給付引当金	2,754	2,827
役員退職慰労引当金	1,492	1,515
資産除去債務	4,603	4,819
その他	2,692	2,425
固定負債合計	15,549	17,659
負債合計	95,690	92,450

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	123,111	125,186
自己株式	△0	△0
株主資本合計	130,872	132,947
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	61
評価・換算差額等合計	75	61
純資産合計	130,948	133,009
負債純資産合計	226,638	225,459

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	117,360	119,212
売上原価	78,374	79,898
売上総利益	38,985	39,313
販売費及び一般管理費	33,412	33,529
営業利益	5,572	5,784
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	5	6
受取手数料	74	82
受取家賃	103	110
その他	245	187
営業外収益合計	444	401
営業外費用		
支払利息	89	85
不動産賃貸原価	38	40
その他	9	41
営業外費用合計	137	166
経常利益	5,879	6,019
特別利益		
固定資産売却益	13	0
受取保険金	9	29
特別利益合計	22	30
特別損失		
固定資産除却損	16	12
減損損失	362	775
災害による損失	151	1,022
その他	7	—
特別損失合計	538	1,810
税引前四半期純利益	5,363	4,238
法人税等	2,172	1,598
四半期純利益	3,191	2,640

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,363	4,238
減価償却費	2,855	3,166
減損損失	362	775
無形固定資産償却費	82	87
長期前払費用償却額	36	39
有形固定資産除却損	16	12
有形固定資産売却損益(△は益)	△13	△0
その他の営業外損益(△は益)	△43	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	199	72
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18	22
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	101	103
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△229	△69
受取利息及び受取配当金	△21	△21
受取保険金	△9	△29
支払利息	89	85
災害による損失	151	1,022
売上債権の増減額(△は増加)	△427	193
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,599	2,545
仕入債務の増減額(△は減少)	2,936	△1,381
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,331	1,316
その他の資産の増減額(△は増加)	35	101
その他の負債の増減額(△は減少)	△55	△417
その他	48	6
小計	11,699	11,848
利息及び配当金の受取額	19	19
保険金の受取額	3	29
利息の支払額	△89	△85
災害損失の支払額	—	△94
法人税等の支払額	△543	△2,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,088	9,440

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,857	△8,236
有形固定資産の売却による収入	23	0
無形固定資産の取得による支出	△217	△77
固定資産の除却による支出	△10	△9
資産除去債務の履行による支出	△54	△46
敷金及び保証金の差入による支出	△66	△42
敷金及び保証金の回収による収入	117	100
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△50	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,115	△8,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△901	△1,236
リース債務の返済による支出	△690	△720
配当金の支払額	△566	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,157	1,476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,814	2,565
現金及び現金同等物の期首残高	17,262	20,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,077	23,095

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	49,496	33,507	24,476	107,480	9,879	117,360	117,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	49,496	33,507	24,476	107,480	9,879	117,360	117,360
セグメント利益	17,285	9,005	9,716	36,007	2,977	38,985	38,985

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	50,569	34,452	24,317	109,338	9,873	119,212	119,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	50,569	34,452	24,317	109,338	9,873	119,212	119,212
セグメント利益	17,661	9,124	9,589	36,374	2,939	39,313	39,313

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日) (至 平成27年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	49,496	42.2	50,569	42.4	102.2
生活用品	33,507	28.6	34,452	28.9	102.8
家具・ホームファッション用品	24,476	20.9	24,317	20.4	99.3
その他	9,879	8.3	9,873	8.3	99.9
計	117,360	100.0	119,212	100.0	101.6

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他